

ZEH普及率目標

※政府が「第5次エネルギー基本計画」（2018年7月閣議決定）において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均で住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロとなる住宅（以下「ZEH」という）の実現を目指す」とする政策目標を設定しました。

我が社は、ZEHビルダーの登録にあたり、平成2025年度までの普及目標として次のような計画を立てて今後取り組みます。

ZEHシリーズ受託率の合計（ZEH受託＋Nearly ZEH受託率）

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2025年度
実績						ZEH普及目標
0	0	0	0	0	0	50%

【1】ZEHの周知・普及に向けた具体策

ホームページの掲載など幅広くお客様へZEH基準の家づくりを知っていただけるように努めます。
また、設計の段階から日射や通風を考慮しプラン作成を進めるとともに、樹脂サッシや高断熱仕様を標準とし高性能な家づくりを実現しています。

【2】具体的なZEH普及策（ZEH低コスト化への取り組み等）

家全体の断熱性能を上げる、また高効率な設備機器を導入することが基本になりますが、遮熱を取り入れ、家の中に熱が入りにくい構造とします。
設計の段階で開口部の位置や大きさ等を考慮し、軒の等を考慮したパッシブデザインとします。

【3】その他の取り組みなど

自然エネルギー・省エネルギーに関する最新の情報・工法等、常に新しい商材や情報などを取得するよう努めてまいります。